



# 名古屋いのちの電話



写真 服部 真由子

葉  
祥  
明

見てごらん

この美しく輝く朝の光

遠くにかすむ山々

広がる田園風景：

美しいだろう

どうしてこれを

楽しまないんだ？

生きているって

こういうことなんだよ

光の中に君も

入りなさい！

『朝の光の中で』

愛育社より

この深刻な問いをテーマに、自殺問題をさまざまな角度から3回にわたって各界の方々に発言していただきました。今回はその続編として、がんと闘いつつ生きることの大切さを日々問い続ける長井潤氏に寄稿していただきました。



## 新しいいのちを与えられて

愛知いのちの電話協会

評議員  
広報委員

長井 潤

この紙面をお借りして自分に与えられた「病」そして「いのち」「祈り」について述べさせていただきますと思います。

私にこのたび課せられた病名は、大変残念なことに癌の中でも最悪と言われる「膵臓癌」です。このことにつきましては、私は全く隠すつもりはありません。だからといって言いふらすことでもありませんが、本誌編集部よりたっの依頼をいただきましたので、これまでの経過と今の様子と心境を説明することをお許し下さい。

私は昨年1月に胆管が閉塞して緊急入院をし、その折「どうも癌である可能性が高い」との予測診断をされました。そして「早期発見がとても難しい病なので、今摘出すると完治の可能性が高い」ということで決断し、2月に手術を受けました。しかし開腹すると早期にも関わらず肝臓に4ヶ所の転移があり「癌病巣」の摘出ができませんでした。

この病のことをある程度ご存知の方はわかりでしょうが、数ある「癌」の種類の中でも「膵臓癌」は最悪の癌で、その診断はある意味「死」の宣告を意味し、この病気になられ、しかも私のように遠隔転移した方の殆どは統計的に数年以内に亡くなられています。

つまり私は一般的に、一年後の生存率が20%以下であり、余命はほぼ数年以内という世界に入ってしまった。現実には私は昨年、同じ頃に膵臓に癌が見つかった音楽の友を失いました。

私は入院の間「お見舞いのご訪問はご遠慮を」と申し上げて失礼していたのですが、それでも親しい方々が、本当に全国から私のためにお祈りに来ていただきました。ある方は毎日のように病室に来られて祈って下さいました。今は昨年3月に退院し、通院して抗がん剤の投与を受けながら、他人には一見して絶対に病人と見られないような元気な生活をしています。

私は入院中「神様が私にこの病を与えてくださったことの意味はどこにあるのか?」という事を考え続けていました。そして「今しなければならぬことを」と決心し、退院後僅か4日目には大阪まで行ってYMCA関係の研修会で礼拝の奨励をいたしましたし、その後も色々な教会の奨励奉仕に招いていただき「証し」する機会をいただいています。また、夫婦念願の尾瀬ヶ原にも行き、家族で韓国の多くの友人にも会いに行きました。

このように、私は常に神様に予定と目標を与えていただき、前向きに積極的に生きています。そのことを本当に感謝しています。

ところで、なぜ、私が今このように元気であるかということですが、実はこの膀胱癌につきましても他の癌と違って、厳密に言うと抗がん剤がただ一種類しかありません。しかし殆どの方が、この素手で触れないほど強い薬による副作用に苦しまれ、投薬量・治療法等の変更を余儀なくされます。ところが私の場合、何故か『稀有なほど』副作用がありません。しかも退院後4ヶ月目には、腫瘍マーカーの全てが正常値になってしまい、その後の検査でも正常値が続き、今年の1月で7ヶ月続いています。さらに昨年末のCT造影検査でも腫瘍が判別できなくなっていて、検査結果は「以前の検査と比較して、明らかな転移の疑いや、腫瘤影なし」でした。体重も増えています。私の病院でも過去にこのような例が無く、このままの数値が続くと医学会で報告されてもよいほどのケースだそうです。

それは何故なのかは神様しかご存知ありませんが、私が思うに、私の信仰や祈りはたかが知れていますし、自分が自分のために祈ることは当然なのですが、とても多くの方々の祈りが神様に届いたに違いありません。そのことは私の実感として、強く確信しています。

私の友人のドクターは私の検査の数字を見て「普通医学的には考えられず、神様の奇跡としか言いようがない」と仰いました。

神様は、このような小さな者にも、本当に「奇跡」を与えて下さいました。

しかし勿論油断はできません。この病がとても甘いものでなく、たまたま今は抗がん剤が私の身体に合って何もかも上手くいっていますが、もしも薬が合わなくなって再発や転移をすれば為すべがないことは、私は十二分に承知・理解をしています。

私は手術後、一旦自分の「死」の後姿を見てしまいました。

しかし、私は絶対にこの病に負けません。私が諦めたり、弱気になったときに私はこの病に負けずしてまいります。

私は、神様にこの病を与えていただいたおかげで、今の私が生きているのは、多くの方々の「祈り」のおかげであることを教えていただき、そのことにより改めて「祈ること」それも人のために祈ることを改めて教えていただきました。私はこのことに心から感謝しています。

私は前述いたしましたように、入院中から自分のこの身に現実起こったこと、つまり神様が与えて下さいました「お前は、これからどう生きるのか？」という問いをどう自分の中で捉えればよいか、ということはずっと考えて祈っています。

その答えの一つとして、私のこの度の体験を通し「いのちの大切さ」を一人でも多くの方々にお伝えすることが与えられた使命であると信じ、そんな決意を持って生きています。

ところで皆様は、キリスト教のことやインドという国のことをよく知らなくても、今年生誕100年を迎えられますマザー・テレサという方の名をきってお耳にされたことがあると思います。そのマザー・テレサの言葉の中に「この世の最大の不幸は、貧しさや病ではない。むしろ誰からも、自分は必要とされないと感じることである」という言葉があります。またこうも言っておられます。「あなたも、神様に望まれて生まれてきた、大切な人である」と。

孤独の中にあり、絶望し、悩み、苦しむ人をこそ「いのちの電話」は必要としています。

神様に望まれ「出産」と言う、母の愛の苦しみの中からこの世に生を受けた「いのち」を大切にし、真の隣人でありたいと願い、祈っています。



## 田舎での相談

浪合こころの相談室 諏訪 耕一

第一期生として「名古屋いのちの電話」の相談に参加していた私でしたが、在職中からのテーマだった「不登校者の回復施設を」という志を捨てられず、教職を途中退職して、退職金で知人も縁者も居ない未知の長野県下伊那郡浪合村内（現阿智村浪合）に、1994年「浪合こころの塾」を自費で設立しました。

入塾者の学校復帰と親の相談活動に専念して十年、退職金を使い果たし、2004年に、別の地に「浪合こころの相談室」を開き、現在は相談と執筆・講演を中心に活動しています。この稿は雪に囲まれて書いています。

相談員当時は、受けた相談電話の応答に、命を失うことのないようにと努力したつもりですが、匿名ということもあり、作話的な内容や病的な人の相談に「どう対応したら」と仲間と苦しんだり、慰められたりしたものでした。

現在の私は相談が中心で、面接と電話で応じています。電話も継続する場合は、相談の対象者（当人、多くは子ども）を一週間、親がよく観察して、その言動を記録して、それをコピーして郵送してもらい、その用紙を中にして電話で相談に応じています。緊急以外は記録がなければ相談に応じませんので、仲間は「諏訪方式」といっています。これは「いのちの電話」での活動を踏まえて、そして遠距離の方にも応じるために、私が考えたものです。

面接相談は交通不便な地ですが、それを生かしています。相談者の多くは、関東地域で（十年前

頃は東海地域の比率が高かった）相談の予約時に「必ず両親で来て下さい。当人は連れて来ないでください」と伝えます。東京からですと車で約時間くらいを要します。関西からも同様の時間です。

この私の相談室との遠近が、大きな心理的な影響を与えるのです。東京からの人の多くは、中央道で諏訪IC近くまで約2時間は、両親とも黙しているが、この付近から父親が「そんな田舎に行かなくとも…」「それはどんな先生だ」「俺はどんなことを言えばいいのか…」「考えてみれば、俺は子育てに熱心ではなかったな」というような会話が始まるそうです。東海地域は近いので両親の真剣な話し合いにならないようです。

面接では私が「不登校者に育てた親はいませんよ。これから二人で協力して、悩んでいる当人を元気にしてあげて下さい。そのためには…」と私の精神発達説を説明して、なにがしの自信と望みを抱いて帰って頂くのです。大切なことは明日の子育てに自信をもってあたるようにすることです。

帰途は「もっと早く来ればよかったな。俺も少しは考えを変えてお前に協力するよ」という会話になるそうです。即ち両親が同じ土俵にのるには二人で3～4時間を要するのです。

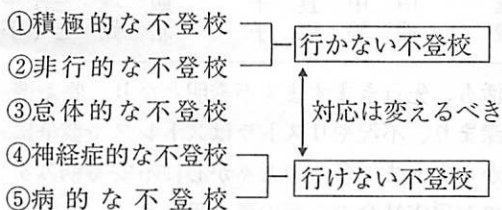
翌日からは毎日の観察記録を採り、毎週コピーを送付し、翌日電話で私の留意点の指摘と褒め言葉に励まされ、また一週間二人での努力が続くのです。面接相談は有料ですし、遠いので、私は「三

回の面接で親が変わらねば、相談は失敗だ。他所へどうぞ」と公言しています。

私は相談の対象者（当人）に会うことは望まれないかもしれません。うつ病や精神的な症状での相談では、当人と面接はしますが、不登校などでは、当人と会う必要は感じません。無理に連れて来て頂くことで、カウンセラーへの反発が、のちに親の変化（努力の姿）を当人が素直に受け入れてくれない損失の方が大きいし、やがて親も「やっぱりダメだ」と努力の継続を断念させることにもなるからです。

不登校には、分類すると五つに分けられ、大別すると「行かない不登校」と「行けない不登校」になる。この二つのタイプは「行かない…」はカウンセリングが有効に働くが、「行けない…」は医学的な対応が必要になります。（下図を参照）

〔不登校を分類すると（諏訪分類説）〕



二つのタイプの対応を間違えると自殺者が出たり、暴力行為が発生したりします。相談員のみならず、みなさんも心して対応して下さい。でないとせっかくの善意が生まれません。

私は、相談の行為に「安・近・短」はよくないと思っています。気軽に相談できることで、軽い悩み的人是救われることを否定はしませんが、長期に悩み苦しんでいる親子に、特効薬の無いのは、命の相談をなさっているみなさんにはおわかり頂けるとおもいます。

悩みの深い、重い相談は、手軽で、気楽で、何時でも、という状況の安・近・短では、相談者の真剣さに不足を感じています。大学で相談の指導に当たっていた時、親は「大学の先生に相談でき

た。これで何とか…」と思い、すぐに「来月の相談日を…」と予約を望まれた。私はかねてから「不登校は親が変わらねば、子は変わらない」と思っている。「これでは私共に依存してしまい、親の変化はむづかしいし、親が変わらねば当人の変化はなお無理だ」と思ったものでした。

「悩みのない人はいない」とか「悩みは人間の特権(?)」ともいいます。相談という行為は、悩んでいる人が、その悩みを軽減するための一つの行動です。悩んでいる当人には、悩みに軽重はありませんが、相談員からすると、比較的に軽い人から病的な重い人までいて、悩みの内容も多種多様です。

これらの人々の相談に、相談員の方々がどう対応するかは、相談者自身の悩みのレベルとその時の心（気持ち）のバランスも大切（拙著『普段着のカウンセリング』参照）です。気軽に相談できることは、比較的に軽い悩みの人や取り敢えずの相談には大変に有効ですが、重い悩みの人には、私の相談室のように、手間ひまをかけ、時間と経費も必要とした方が、相談者の自覚を高め「こんな田舎には何度もこれない。よく聞いて帰らねば…」と真剣さも加わり、効果をあげられるように私は感じています。

近所のおじさんやおばさんへの相談と、手間ひまかける相談では、おのずと異なるのは当然で、故に私のような山奥の田舎でも、それが相談者に理解されれば、相談は十分に（相談数に措いて）可能なのです。

従って当分の間は、この山を下りるつもりはありません。



## ご援助ありがとうございます

2009年10月より2010年1月末日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共に報告を申し上げます。(順不同・敬称略)

なお、上記期間内に何度もご寄付くださった方もお名前は1回にさせていただきます。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会  
理事長 野村 純一  
財務委員会

### 賛助会員 A

山下 隆蔵	蔵美 弘樹	岡前 塩大	田野 矢	庸豊 高宣	男子 道子	石北 下大	田村 島田	義郁 徹恭	人子 嗣子	島近 藤田	岩高 村井	しづ子 和芳	子二 健淳	山下 志津代	馬久 貴美子	上久 美津江	出口 武昭	佐々木 昭あ	佐藤 さ子
-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	-------	--------	-------

伊藤 藤みづ子 須田 宣静 代  
法蔵寺 林高寺 愛知日野自動車(株) 聖霊奉侍布教修道女会  
名古屋学院大学キリスト教センター

### 賛助会員 B

溝口 興治	諷昭 幸輝	柳澤 明子	岩田 一邦	柴鳥 森岩	尾田 関	素平 圭静	伸和 子枝	神山 西杉	野本 尾山	啓幸 志青	子江 潔乃	常豊 黒加	富島 藤幸	佳徳 忠明	子三 嘉宏	鎌中 山寺	倉村 田本	勝かつ 美代	子計 乃茂
-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------

### 賛助会員 C

山本 公静	野輪 淳武	子枝 子昌	真河 野服	木村 村部	芳公 妙仲	子子 子枝	三小 杖藤	宅林 山居	晃達 直	功子 雄哉	青高 田武	木橋 中嶋	恵栄 良恵	子一 子恵	江平 飯北	口田 塚条	志のぶ たく子	志た 三千子	のぶ 子とく
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---------	--------	--------

## 点滴

今や私たちをとりまく世の中の情勢も身近な生活も、先行きますます不透明となり、物や情報の豊かさとは裏腹に、人間的疎外感や挫折感は深まり、不況やリストラはストレスや競争に一層拍車をかけ、人間関係は希薄になり、子どもから大人まで多くの人々が心に不安や悩みを抱え、満たされない思いや孤立感に苛まれているのが現実社会の一面の姿と思われる。しかも今の社会では、こうした不安や悩みをじっくり聞いてくれる相手はなかなかいないし、一昔まえのように家族や隣近所の人たちに話を聞いてもらえるような時代ではない。

このように心に抱えきれないほどの負担を持った人々が求めているのは、自分の不安や悩みを聞いてくれる相手であり、孤独や絶望感をぶつけられる相手であり、まさに親身になって受け止めてくれる相手であろう。

ここに私たちの「いのちの電話」の存在意義があり、社会の一隅を照らし続ける地道でたゆまぬ活動が今ほど求められている時はないと思われる。「いのちの電話」の目的には「精神的危機に直面し助けと励ましを求めている人々に対し、常に開かれており、主に電話という手段で対話し、健全な社会人として生活できるよう援助し……」とあり、また「私たちの周囲にはさまざまな問題を抱えて孤独と不安に苦しみ、悩み、生きる力を失いかけている人々が少なくありません。こうした人々と心を通わせ、少しでもその重荷を下ろすことのお手伝いが出来たらと願いつつ……」とうたっている。

厳しく生きにくい時代だからこそ、少しでもより良い社会をつくるために、みんなで共に生きるために、市民ボランティアである私たち相談員がこの目的に添い、微力ながらビフレンディングの精神で活動できる場を与えられていることに感謝である。

おりしも今年は、名古屋いのちの電話開設25周年とのこと、私たち相談員もこれを機にいっそう自己研鑽、相互研鑽に努めながら、良き隣人としての確かな働きができれば幸いです。(YI)

子建男  
カ・建立  
タ・建立  
下・建立  
山朝太  
山加小伊渡小吉鰯宮土平佐岡戸鶴

子五郎  
惠緒三  
智三重  
出野塚  
中西飯  
松成石高江塚阪鈴高安椰服松見鈴

子英枝  
球友三  
生野村  
柳西花  
子勢枝子夫美夫子吾子よ子春子子ほ  
清千好倫幹明靖朗省訓き智千芳和み  
枝田田藤植岡枝田藤下田岡島田口井  
小藤吉加柘金今石加浜上福前岩山村

子枝子  
昌直美  
田藤瀬  
栗近湯  
子隆子之子美子子輝彦彦雄矢子子江  
浩和宏妙悦雅及正智和重一厚文初  
水川野野藤野崎里浦田藤出澤藤岡島  
清中河藤安中野宮坂兼安下大加松小

子子子  
律弘睦  
川村村  
早川松  
江乃子泰子子子子一雄子弓勝子輔子  
夏茂雅邦定鋪小洋純崇明輝美摠由季  
栗本藤川川川井村安村中垣木川谷  
小橋伊小早中林永野子下山  
寄付金

オフィスコア(株)  
興禅寺  
(株)みどり造園  
(株)中外  
南山幼稚園

オチアイネクス  
名古屋教会女性会  
名東教会婦人会  
聖パウロ女子修道会  
日本聖公会名古屋聖マタイ教会  
日本基督教団名古屋中央教会

韓基督教名古屋教会  
日本キリスト教会名東教会  
聖心会修道院  
黒金化成(株)  
聖靈修道院

念寺  
東名サニタリー(株)  
カトリック平針教会  
日本基督教団愛知教会  
川北電気工業(株)  
三菱UFJ証券(株)

子美子  
惠は美子  
美る美子  
行子  
江子  
喜子  
知子  
邦子  
み子

助子子代子子隆泉江二男  
康治愛か塩宏夏篤立  
井田野村谷内尾田田  
笠白水中心竹堤平石矢満太

智真き子郎子一子平子志  
みゆ博治浩鑽純順三武  
木野藤本藤田田野藤野木  
鈴木加岡佐森岩佐杉西八

男子子子明子子尚英子  
良瑞政訓良則昭篤友あや子  
本井瀬下中口川藤玉野田  
橋平村浜田谷中五児西秋

世美也吾一嗣治貞夫子子  
和江和省栄徹義利英聖幸  
田田藤木村川岡内谷村  
普豊飯加青下相長宮中

聖マリア在俗会  
日本基督教団春日井教会婦人会  
カトリック高蔵寺教会  
日本基督教団豊田教会  
井上幼稚園 栄冠幼稚園  
幼き聖マリア修道会  
ドミニコ会聖ヨゼフ修道院  
カトリック小牧教会  
日本キリスト教団熱田教会めぐみ会

名古屋北教会社会奉仕委員会  
日本基督教団広路教会  
名古屋聖ステパノ教会  
カトリック長浦教会

日本キリスト教団豊山教会  
日本基督教団岡崎教会  
カトリック半田教会  
一宮聖光教会  
カトリック日比野教会  
聖マリアの無原罪修道会名古屋修道院  
日本基督教団愛知守山教会  
幼き聖マリア修道会富山修道院  
名古屋キリスト教女子青年会  
日本基督教団名古屋中央教会

日本キリスト教団豊山教会  
日本基督教団岡崎教会  
カトリック半田教会  
一宮聖光教会  
カトリック日比野教会  
聖マリアの無原罪修道会名古屋修道院  
日本基督教団愛知守山教会  
幼き聖マリア修道会富山修道院  
名古屋キリスト教女子青年会  
日本基督教団名古屋中央教会

法人会費

松岡特殊鋼(株) (株)東海通信資材サービス 宝泉寺 (株)杉浦製作所  
トヨタ自動車(株) 大須観音 寶生院 (株)サンゲツ (株)東海理化電機製作所  
杉山工業(株) (株)東郷製作所 (株)ジェイテクト 豊田通商(株)  
(株)フジトランスコーポレーション 愛三工業(株) 聖心同窓会東海支部

## 事務局からのお知らせ

今年2010年は名古屋いのちの電話が開局して25年になります。この記念の年に多彩な行事を企画いたしました。

- ① 「館野泉ピアノリサイタル」 奇跡のピアニスト～左手が織りなすいのちの音楽～  
2010年6月13日(日) 午後2時 開演 しらかわホール
- ② 「25周年記念シンポジウム」 ～自殺と私たちはどう向き合ったらいいか～  
2010年9月11日(土) 名鉄ニューグランドホテル 午後2時～
- ③ 「25周年記念誌発行」

詳しくは事務局にお問い合わせください。

### 賛助会員を募集しています

#### ご協力をお願いします

いつも資金ボランティアとして会費やご寄付をいただき有難うございます。心から御礼申し上げます。会員の皆様の倍旧のご支援と共に、会員増加の運動にもお力添えを賜りますようお願いいたします。社会福祉法人として寄付金の税法上優遇措置が受けられます。誠に失礼ですが振込票を同封させていただきます。ご利用くだされば幸いです。

- (1) 法人会費 年間5万円・10万円・20万円
- (2) 賛助会員(年間1口) A 10,000円 B 5,000円 C 3,000円
- (3) 一般寄付はご自由な金額で結構です
- (4) 夏期・年末寄付

口座名 社会福祉法人愛知いのちの電話協会  
口座番号 三菱東京UFJ銀行大津町支店(普) 477029  
郵便振替口座 00810-8-53758

#### 【友の会便り】

友の会の最終の目的はいうまでもなくいのちの電話の働きに貢献することにあります。人生のある時に情熱をもって、いのちの電話と関わった者達が現場を離れた今も、いのちの電話への関心と仲間同士の交わりを持ち続けたいと願って工夫を重ねています。奉仕の働きを中心に適宜親睦の機会を楽しんでいます。みなさまのご参加、ご協力をこころよりお待ちしております。

2010年度友の会総会予定をご案内いたします。

日 時：2010年4月29日(休) 12:00～14:00 (軽食を用意いたします)

場 所：名古屋いのちの電話会議室 (近況報告・懇談・その他)

この「名古屋いのちの電話」の機関紙は、共同募金配分金によって作成されたものです。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会  
名古屋いのちの電話

2010年春

〒461-8691 名古屋東郵便局 私書箱第257号  
事務局 ☎ 052-971-5181 郵便振替口座 00810-8-53758  
相談電話 ☎ 052-971-4343 三菱東京UFJ銀行大津町支店(普) 477029  
携帯相談電話 NTTドコモ東海「#9556」

2010年3月1日発行  
発行人 野村 純一  
編集人 広報委員会